



焦っても仕方ない。

マイペースでいこう。

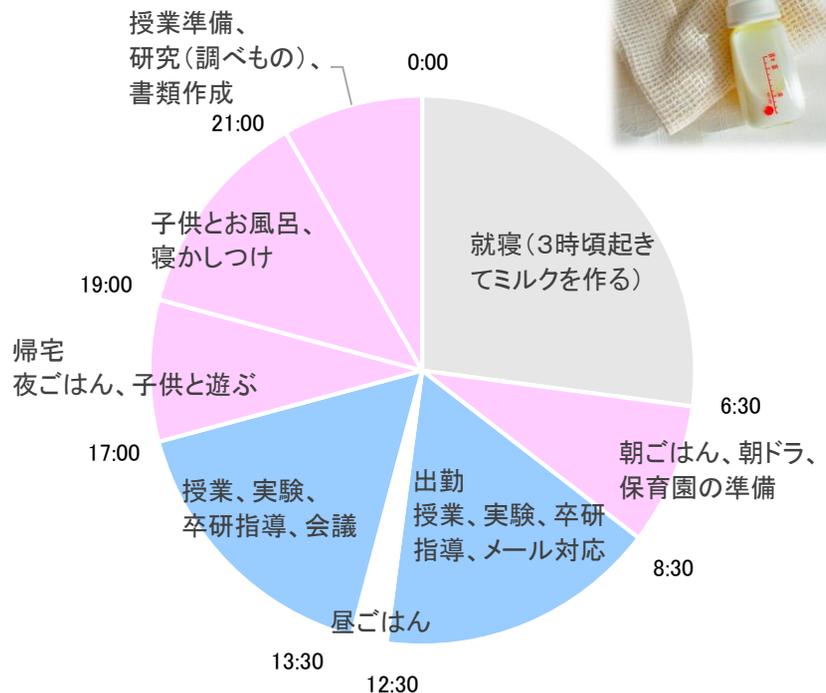
ほんま としまさ
本間 俊将 さん

鶴岡高専 物質工学科卒業。
長岡技術科学大学 生物統合工学専攻
修了。博士(工学)。
ベンチャー企業の研究員を経て教員に
なる。現在は岩手県にある一関高専の
講師。

✓ 本間さんの 日々のルーティン

「快眠、快食、快便」を
守れているので健康です。
実験と食事の時間が
癒しの一時。
もはや研究が趣味に
なっています。

ゆっくり味わう
食事スタイルは譲れない
ポイントです。
朝は朝ドラ、夜はアニメや
バラエティーを見ながら
家族で食事を楽しんで
います。



✓ 本間さん “私のライフチャート”



	出生～中学校	高専	大学	大学院	ベンチャー企業時代	現在
出来事	山形県鶴岡市に生まれ、のんびり過ごす。おばあちゃん子です。	内申点が足りず一般受験で高専へ。部活(卓球)に打ち込み、そして授業中睡魔に負ける。	スーパーVOS 特待生として入学。何もわからないまま博士課程に行くと決める。	修士課程、さらに博士課程に進学。好きなだけ実験できる夢のような日々。	新しい研究分野にチャレンジしたいと思い、ベンチャー企業に就職。	より独創的な研究がしたいと思い一念発起。育休を取る先生の代替要員として高専へ。
影響を受けた出来事 出会い		「竜馬がゆく」を読み、自分も田舎から飛び出し修行したいと思う。	恩師 下村雅人教授との出会い。化学を楽しむ姿勢を学ぶ。	海外旅行や留学生との交流で世界が広がる。英語の重要性を痛感する。	社長との距離が近かった。新しいことにチャレンジするベンチャー魂を学ぶ。	学生時代に知り合った相手と結婚。不規則な生活を改める。
成功体験	算数、理科、社会、図工は得意。逆に国語、英語、音楽、体育は不得意。自分は理系人間だと気づく。	授業中寝るためテスト前はいつもピンチ。逆に自分で勉強するスタイルが身に着き、成績が上がる。	3年生の時、系内球技大会優勝。週4時間の練習が実を結ぶ。	ゼミで教授と激論を交わし、アイデアを認めてもらったことが自信になった。	特許出願なども経験でき、研究分野が広がった。多種多様な人達と交流できたのは貴重な経験。	卒研究生やいろんな先生のおかげでなんとか自分自身の研究分野を築く。
失敗体験	のびのびし過ぎて食べるスピードが遅くなってしまった。	朝から晩まで卒業研究に没頭。しかし発表会で質問に答えられず、研究を真に理解していなかったと反省。	酒の失敗が多い。週3で朝まで飲み会。側溝に足がハマリ、そのまま朝を迎えることも。	女性限定や女性優先の公募が多く、大学、高専で研究することを断念。		研究に没頭しすぎて時間を忘れてしまう。仕事と家庭の両立法を模索中。

✓ 本間さんに いろいろお聞きしました!

今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

参加したセミナーで赤澤先生(長岡高専)のお話を聞いたのがきっかけです。

低学年の教育にも力を入れながら自分の研究分野を開拓していく姿がかっこいいと思いました。

ベンチャー企業にいた影響かチャレンジ精神にみなぎっていたので即転職を決意しました。

この仕事を続けていてよかったと思うところは何か?

学生の成長を感じたときです。

恐る恐る実験していた1年生が、4年生になったら自分で次の操作を考えて実験できるほど成長します。

その成長に貢献できているかはわかりませんが、これを間近で見れるのは高専教員だけです。

まだ4年しかこの仕事を続けていないので、今後さらに「続けていてよかった」と思えることが増えていくと期待しています。

ロールモデルを教えてください

ロールモデルはいません。

極力、多くの人意見を聞き、良い考えや行いを取り入れるよう心掛けています。

学生時代の自分を振り返って

遊んでいた印象が強いです。

学部の際は「授業→ハンドボール→飲み会」、修士課程の際は「研究→ゲーム*→飲み会」のループでした。(注:主にモンスターをハントするアクションゲーム)

人生の中で最も遊んだ時期です。

この時期に研究が一番楽しいと思えたからこそ今も続けていられるのかな、と思います。

ワークライフバランスについて教えてください

好きな研究が出来ているので精神的には健康ですが、授業や部活、宿直など多くの業務があるので体力的にはキツイです。

家族のワークライフバランスも考えなければいけないので、最近は効率的に研究する方法を常に考え、なるべく5時以降は家族と一緒にいるようにしています。(授業準備などは子供が寝た後にします。)

これからさらに業務が増えていく中でいかに家庭と研究を両立していくか、まだまだ試行錯誤している段階です。

社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします

SNSでいろんな人の生き方を簡単に見ることのできる時代ですが、周囲の環境や個性は人それぞれ違うので、あまり気にしないほうがいいですよ。

たまに他人と人生を比較して後悔している人を見かけます。

まだ人生道半ば、後悔は死ぬときにすればいいと思います。

学生の間は周りを気にせず自分に合った生き方をじっくり探してみてください。



✓ 本間さんの 育休体験



育休はいつから、 どれくらい取得しましたか？

子供が生まれた3月初旬は特別休暇で対応、3月中旬から5月末までの約2カ月半の間、育児休業を取りました。
さらに6月から8月まで10時～16時までの時短勤務を取得しました。
8月から10月までは夏休みのため検診やワクチン接種で休む場合も学生には迷惑かけない、10月以降は保育園に預けようと考えていたため、上記の期間に決めました。

育休中はどうでしたか？

育休中はずっと忙しく、休みではなかったですね。
一方で育児にチャレンジし、家族にちゃんと向き合えたので家庭円満を続けていくうえで非常に有意義な時間だったと思います。

私が育休中に行ったことはオムツ替え、お風呂、ミルクの準備、寝かしつけなどの育児と、掃除、洗濯です。妻に休んでもらうために睡眠時間を削って赤ちゃんの世話をしました。

でも、一番大変な仕事は母乳をあげることだと思います。
残念ながら男性には手伝えないので結局妻もほとんど休めていなかったです。

「こんな生活がずっと続くのだろうか」と不安になる日も多くありました。しかし、妻と共に検診に参加したり助産師の話を聞いたりすることで、徐々に育児のコツをつかんでいきました。

今思うと、この時期に「妻と共に」勉強したことが重要だったと思います。おかげで同じ方向性で育児が行えていると感じます。
育休中の仕事についてですが、研究は好きなので続けていました。

子供を寝かしつけながら研究のアイデアを考え妻と子供が寝ている間に研究費の申請書を書くなど、実験出来ないなりに工夫しています。
子供の寝顔を見ながら考えているといいアイデアが浮かぶんですよ。



取得の準備や 周りの反応は？

まず使える制度について確認しました。

男性教員の場合、育休以外にも「配偶者の出産休暇」、「男性教職員の育児参加のための休暇」として特別休暇(有給)を取得できます。さらに育休明けも「育児部分休業」を取得することで、仕事と子育てを両立する道を考えました。

周りの先生方はとても協力的だったので大変感謝しています。

来年度の授業担当を決める前にまず系長に相談していました。そのおかげで前期は授業を担当しなくてよくなりました。例年通り卒研生を受け入れたため、時短勤務中は卒研指導と子育てに集中できました。

これから育休取得したい人にメッセージをお願いします

育休を取ったおかげでパパ見知りほとんどなかったです。子供に接する時間が短い場合や母親に任せっきりの場合はなるらしく、もし育休を取っていなかったら私もパパとして認識してもらえなかったかもしれません。

奥様やお子様ちゃんとパパと認識してもらうためにも、育休の機会があればぜひ取得してください。生まれてからの3カ月間だけでもいいです。仕事と家庭をうまく両立する絶好のチャンスになるはずですよ。